事 前 評 価 調 書

| I 事業概要 | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------------------------|--------------------|---|--------------------------------------|---|--------|------|---------|--------|--------------|------------|------|--|
| 事 | 業 名 農業農村整備事業 (たん水防除事業) | | | | | | | | | | | | |
| 地 | 地 区 名 新田地区 | | | | | | | | | | | | |
| 事業箇所 | | 額田 | 額田郡幸田町大字菱池 | | | | | | | | | | |
| 事業のあ らまし | | は自 し 以上 こ | 本地区は、幸田町北部の低平地に位置し、一級河川広田川に排水している。地区の排水は常時は自然排水ではあるが、洪水時は新田排水機場による機械排水に依っている。 しかし、近年の都市化の進展に伴い流出量が増大するとともに、既設排水機場は設置から30年以上が経過し排水能力の低下がみられ、湛水被害の恐れが高まっている。 このため、たん水防除事業では排水機場の更新を実施することで地域の浸水を防ぎ、農地や地域住民の生活を守ることを目的としている。 | | | | | | | | | | |
| | | | 【達成(主要)目標】 | | | | | | | | | | |
| 事業目標 | | - | 湛水被害を未然に防止し、農地や地域住民の生活を守る。 (基準雨量:292mm/3 日、1/20 年確率雨量) | | | | | | | | | | |
| 事業費 | | | 事業費 | | 内訳 | | | | | | | | |
| | | | 8.8億 | | ■工事費 | 麦 7.3億 | 円、■用 | 補費 0. | 1 億円、■ | ■その他 | 1.4億円 | | |
| 事 | 業期間 | 採护 | 予定年度 | 平成 | 29 年度 | 着工予定 | 定年度 | 平成 30 年 | 度 完成 | 艾予定年度 | 平成 3 | 5 年度 | |
| 事業内容 | | | 排水機場 1箇所 ・新田排水機場 (φ700×2 台) | | | | | | | | | | |
| п | 評価 | | | | | | | | | | | | |
| ①事業の必要性 | 1) 必要 | ! | るが、降雨時は広田川へ機械排水を行っている。その後の地区内開発による流出量の 排水機の能力低下により、効率的な排水ができないおそれがあるなど、大雨による温 の恐れが高まっている。 このため、早急に本施設の更新を行い、これらの被害を防止する必要がある。 A: 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B: 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。 【理由】 降雨時における排水を農業用排水機場に依存する地域であり、機能低下した排水機 やかに更新し、排水能力を向上する必要があるため。 | | | | | | | | 量の増加やる湛水被害 | | |
| | 1) 事業計画 | | | _ | | 1100 | 1100 | 1104 | 1,100 | 1100 | 110.4 | 1105 | |
| ②事業の実効性 | | | | 調査・試用地報工事・機量・機量・機会 | 償 :エ :エ :エ :エ | H29 | H30 | 7.1 | H32 | H33 | H34 | H35 | |
| | 2) 地元 意形 | | 本地区は | 本地区は土地改良法に基づく申請事業であり、地元の合意形成が図られている。 | | | | | | | | | |
| | 判定 | : A | | | A: 事業計画の実効性が期待できる。 B: 事業計画の実効性が期待できない。 | | | | | | | | |

【理由】

事業計画に無理がなく地元の合意形成も図られており、実効性が期待できる。

Ⅲ 対応方針

事業実施が

事業実施が妥当である。: 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。

妥当である。

事業実施は妥当でない。: 上記以外のもの。

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象(事業完了後 年目) □対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

_

【主な評価内容】

本事業は想定規模と同等の降雨がなければその効果を検証できないため、事業完了後5年以内に想定規模と同等の降雨が発生した場合にその効果を検証する。